

令和元年度 第1回学校関係者評価委員会（柔道整復学科）議事録

1. 日時 令和元年9月19日（水） 18時10分～19時15分

2. 場所 日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎001教室

3. 出欠席

(1) 出席	委員	小泉 利幸（三進興産 営業部長） 道狭 浩子（ひろこ整骨治療室 院長） 加瀬 剛（キネシオ接骨院 院長）	計3名
	学校	奥田 久幸（校長） 岸本 光正（副校長） 木下 美聡（フロンティア推進部長） 司会 伊藤 恵里（副学科長） 住吉 泰之 森下 友雄	計6名
(1) 出席	事務局	大友 員彦（事務部長代行） 柏 達也（教務グループ職員） 伊藤 真紀（教務グループ職員） 議事録	計3名
			合計12名
	(2) 欠席	伊藤 述史（東京都柔道整復師会 会長） 佐藤 和伸（佐藤代田整骨院 院長）	計2名 敬称略

4. 議題

(1) 退学・除籍率	柏	(18:12～18:17) ≪ 5分≫
(2) 就職率	木下	(18:17～18:25) ≪ 8分≫
(3) 定員充足率	伊藤 恵里	(18:25～18:30) ≪ 5分≫
(4) 国試合格率	森下	(18:30～18:35) ≪ 5分≫
(5) 自己評価報告書の報告	岸本	(18:35～18:48) ≪ 13分≫

質疑応答《18：50～19：05》

就職率について

(委員からの質問・意見)

合格者数と就職者数の数字が一致しない（就職者数のほうが上回っている）のはなぜか。

(学校の回答)

資格は取得したものの、柔道整復師の仕事につかない、もしくは現在就いている仕事を続ける者も含まれている。次回からは母数を合格者とした数字も記載する。

国試合格率について

(委員からの質問・意見)

国試合格率の目標値をもっと高くすればよいのではないか？

(学校の回答)

気持ちは100%で取り組んでおり、最低目標という現実的な数字である。国試合格率の毎年の波を分析しており、合格率が高かった翌年は低くなる傾向にある。去年は合格率が高かったため、来年度は低くなると読んでいる。国家試験の問題が20問増加することもある。1問増加するだけでも体力にすると大変厳しいものである。それを踏まえた現実的な数字で全国平均も加味した数字になっている。

退学・除籍率について

(委員からの質問・意見)

定期試験の30分を自習時間にすることが、直接的に退学抑制に影響しているとは思わないが実際はどうか。また、そのようにした結果について知りたい。

(学校の回答)

60分にした経緯は、解答する時間は約30分～1時間で、残りの30分はほとんどの学生が寝ている状態であった。この時間を有効に使うために試験時間を60分とした。この影響はまだ分析できていないが追再試験対象者は減少しているように思う。

定員充足率について

(委員からの質問・意見)

他校も夜間部の募集は苦戦しているのか？

(学校の回答)

他校には昼間部の志願者を夜間部へ流しており、夜間部の学生は高卒新卒となっている学校もあるようだ。その他の学校は本校同様苦戦している状況である。

(委員からの質問・意見)

臨床実習が影響しているのではないかと働く人にとっては仕事を休めないで、大変なのではないか？

(学校の回答)

「働きながら学ぶ」というパッケージの見直しを行う必要がある。3年間の職業実績がないと、管理者になれなくなったことが影響している。実際にその制度を知り、資格取得を諦めようとする学生も現実にはいる。研修先のことまでサポートできるパッケージをいずれ提供していきたいと思っている。

次回開催予定 令和2年2月19日(水) 17:00～

令和元年度 第1回学校関係者評価委員会（鍼灸学科）議事録

1. 日時 令和元年9月26日（木） 14:00～17:00

2. 場所 日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 001 教室

3. 出欠席

(1) 出席 委員 前田 真也（カリスタ株式会社 代表取締役）
高島 風香（カリスタ株式会社 執行役員）
鈴木 幸次郎（天心堂鍼灸院 院長） 計3名

学校 奥田 久幸（校長）
岸本 光正（副校長）
青木 春美（学科長）
中村 幹佑（教務委員長）
渡邊 靖弘（司会）
亀谷 文人
西野 祐介
山中 直樹 計8名

事務局 小浜 悠樹（教務グループ職員）
伊藤 真紀（教務グループ職員） 議事録 計2名

合計14名

(2) 欠席 委員 藤原 良次（株式会社アールエフ 代表取締役） 1名
敬称略

4. 議題

(1) 退学・除籍率 西野 (15:15～15:20) ≪5分≫
(2) 就職率 山中 (15:20～15:25) ≪5分≫
(3) 定員充足率 青木 (15:25～15:28) ≪3分≫
(4) 国試合格率 亀谷 (15:28～15:35) ≪7分≫
(5) 自己評価報告書の報告 岸本 (15:35～15:42) ≪7分≫

質疑応答《18:50～19:05》

定員充足率について

(委員からの質問・意見)

定員を増やすことは考えていないのか。

(学校からの回答)

定員に対しての敷地所率など法令的な制限があり、現在直近では考えていない。

就職率について

(委員からの質問・意見)

鍼灸昼間部の現時点での内定率の低さについて分析はできているか。

(学校からの回答)

業界フェスタを定期的開催しているが、「国試の結果がでてから考える」という学生もいる。個人面談等を重ね、「まずは治療院見学に行くこと」を勧めていきたい。

(委員からの質問・意見)

学生の採用を行う際に、「入職後の目標」を尋ねると、昼間部の学生より夜間部の学生のほうが、よりリアルな目標を持っている印象を受ける。より具体的な目標が持てるようになるとさらに良いと思う。

(委員からの質問・意見)

業界フェスタには「広報担当者」や「採用担当者」が参加することが多く、現場の鍼灸師と話せる機会がない。そのような機会が増えるように採側と共有していきたいと思う。

令和元年度 第2回学校関係者評価委員会（柔道整復学科）議事録

1. 日時 令和2年2月18日（火） 16時00分～17時00分

2. 場所 日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎001教室

3. 出席者

委員	伊藤 遼史（公益社団法人 東京都柔道整復師会 会長）	
	佐藤 和伸（佐藤代田接骨院 院長）	
	小泉 利幸（三進興産 営業部長）	
	道狭 浩子（ひろこ整骨治療室 院長）	
	加瀬 剛（キネシオ接骨院 院長）	計5名
学校	奥田 久幸（校長）	
	岸本 光正（副校長）	
	木下 美聡（フロンティア推進部長） 司会	
	伊藤 恵里（副学科長）	
	大隅 祐輝	
	西村 優一	
	森下 友雄	
	中村 幹佑（教務委員長）	
	大友 員彦（事務部長代行）	
	小浜 悠樹（教務グループ職員）	
	柏 達也（教務グループ職員）	
	兼子 啓太郎（教務グループ職員）	
	伊藤 真紀（教務グループ職員） 議事録	計13名
		合計18名

敬称略

4. 議題

- | | |
|------------|----|
| (1) 退学・除籍率 | 大隅 |
| (2) 就職率 | 木下 |
| (3) 定員充足率 | 西村 |
| (4) 国試合格率 | 森下 |

質疑応答

就職率について

(委員からの質問・意見)

2019年度卒業予定者の主な就職先はどこか。

また、卒業生の就職先について後追い調査をしているか。

(学校の回答)

2019年度卒業予定者の就職先は接骨院が6・7割、整形外科が2割、介護施設が1割であり、接骨院の7、8割がチェーン店勤務である。今後は整形外科からの需要が増えると予想している。

卒業生の後追い調査については、今まで校友会（同窓会組織）に協力していただいていたが、連絡がつかない卒業生もいた。

昨年度より「キャリアマップ」というシステムを導入し、卒業生とインターネット上でつながり、後追い調査することができるようになった。今後、調査、情報収集を進めていきたい。

国試合格率について

(委員からの質問・意見)

国試合格合宿（5泊6日）の学生の負担費用はどのくらいか。

(学校の回答)

学生には1日5000円（宿泊費、食事代込み）を負担していただき、その他の費用は学校で負担する。

令和元年度 第2回学校関係者評価委員会（鍼灸学科）議事録

1. 日時 令和2年2月20日（木） 15:00～16:00

2. 場所 日本医学柔整鍼灸専門学校 本校舎 001 教室

3. 出欠席

(1) 出席	委員	前田 真也（カリスタ株式会社 代表取締役）	計 3 名
		高島 風香（カリスタ株式会社 執行役員）	
鈴木 幸次郎（天心堂鍼灸院 院長）			
学校	奥田 久幸（校長）	計 11 名	
	岸本 光正（副校長）		
	青木 春美（学科長）		
	中村 幹佑（教務委員長）		
	渡邊 靖弘（司会）		
	天野 陽介（鍼灸学科教員）		
	大友 員彦（事務部長代行）		
	小浜 悠樹（教務グループ職員）		
	柏 達也（教務グループ職員）		
	兼子 啓太郎（教務グループ職員）		
伊藤 真紀（教務グループ職員） 議事録	合計 14 名		

(2) 欠席	委員	藤原 良次（株式会社アールエフ 代表取締役）	1 名 敬称略
--------	----	------------------------	------------

4. 議題

(1) 退学・除籍率	青木
(2) 就職率	中村
(3) 定員充足率	青木
(4) 国試合格率	天野

就職率について

(委員からの質問・意見)

外部の就職フェスタと学校行事とのバッティングがあると聞いたので、来年度以降、行事計画時から予定を把握しておいたほうがよい。

都合が悪く、業界フェスタ行けない学生に対して動画配信などしてもよいと思う。

(学校からの回答)

いただいたご意見を参考に検討したいと思う。

退学・除籍率について

(委員からの質問)

鍼灸学科の退学理由について分析はできているか。

(学校からの回答)

親の介護や学生自身の体調不良が原因で退学となった。